

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL <http://www.okwave.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼元 謙任  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 野崎 正徳 (TEL) 03(5793)1195  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	1,609	108.1	△242	—	△241	—	△190	—
25年6月期第2四半期	773	6.5	△75	—	△68	—	△305	—

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 △189百万円(—%) 25年6月期第2四半期 △309百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	△22 16	—
25年6月期第2四半期	△35 48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	2,031	1,459	71.8
25年6月期	2,398	1,649	68.6

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 1,458百万円 25年6月期 1,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
26年6月期	—	0 00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	26.0	△160	—	△150	—	12	—	1 39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年6月期2Q	8,611,000	25年6月期	8,608,000
26年6月期2Q	60	25年6月期	60
26年6月期2Q	8,609,456	25年6月期2Q	8,604,614

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は、平成26年2月14日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)における我が国経済は、経済政策による景気回復への期待感から円安株高が進行し、一部に成長の兆しが見え始めたものの、新興国経済の減速等の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社におきましては、スマートフォン対応強化によるサイト閲覧数の増加を目指したほか、新規利用者獲得と継続利用者の確保に向け、既存サービスの改修や、新たなサービスの開発を行いました。これにより、売上高は1,609,662千円(前年同期比108.1%増)となりました。利益面では、営業損失は242,006千円(前年同期75,019千円の損失)、経常損失は241,809千円(前年同期68,531千円の損失)、四半期純損失は190,822千円(前年同期305,330千円の損失)となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	1,609,662	836,081	+108.1
営業損失(△)	△242,006	△166,986	—
経常損失(△)	△241,809	△173,277	—
四半期純損失(△)	△190,822	114,508	—

## ② セグメントの概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。また、各事業分野のセグメント利益は、全社費用329,722千円(前年同期204,680千円)を含まない額であります。

## ・ ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aサイト「OKWave(オウケイウェイヴ)」のほか、Q&Aから派生した様々なサービスを運営しています。

当第2四半期においては、利用者満足度の向上と新たな利用者の獲得を目指し、各サイトのスマートフォン対応強化と、コンテンツの充足を行いました。「OKWave」では、カテゴリの再編とランキング機能の追加を行い、必要な情報を見つけやすい環境の提供に努めました。ソーシャル多言語コミュニティ「OKWave ありがとう」においては、コンテンツ拡充などの取り組みにより利用者数が増加しました。米国の連結子会社OKWave Inc.では、iPhone向けアプリ「Pinatas(ピニャータ)」の提供を開始しました。費用面では、体制強化に伴う固定費の増加に加え、マーケティング費用が先行発生しました。以上の結果、ソーシャルメディア事業の業績は、次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	323,066	74,122	+29.8
セグメント損失(△)	△55,604	△43,764	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBiz（オウケイビズ）」など、企業向けのソリューションを提供しています。

当第2四半期においては、検索機能を強化し、より使い勝手が向上した主力製品「OKBiz」に加え、Q&Aサイトで培った独自のノウハウを活かした製品である「OKBiz for Community Support（オウケイビズフォーコミュニティサポート）」や「QAPartner（キューエーパートナー）」の様々な業種の企業への導入が進みました。以上の結果、エンタープライズソリューション事業の業績は、次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	545,288	41,171	+8.2
セグメント利益	208,911	61	+0.0

・ナレッジマーケット事業の概況

ナレッジマーケット事業では、知識流通という概念で、モノのまとめサイト「myFave（マイフェイブ）」、知識売買サイト「High500（ハイファイブハンドレッド）」、並びに複数の課金制モバイルサイト（※）を運営しています。

当第2四半期においては、「myFave」のスマートフォン版を提供開始しました。課金制モバイルサイトにおいても、スマートフォン経由の利用者増といった環境に対応し、auの「auスマートパス」、NTTdocomoの「スゴ得コンテンツ」へ複数のサイトを提供しました。この結果、新規利用者獲得につながり、売上高が順調に増加しました。費用面では、マーケティング費用が売上に対し先行して発生しました。以上の結果、ナレッジマーケット事業の業績は、次のとおりとなりました。

（※）スマートフォンや従来型携帯電話向けに提供している課金制サイト

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	41,615	21,094	+102.8
セグメント損失(△)	△96,372	△29,024	—

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制で運営する多言語のコンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供しています。

当第2四半期においては、国際送金サービスの多言語カスタマーサービス案件に加え、ソーシャルゲームのテキストカスタマーサポートが売上高に貢献しました。さらに、上海現地にてサポートセンター業務を受託し、日本企業の海外進出にともなう通訳・翻訳業務へのニーズの高まりに対応しました。以上の結果、多言語CRM事業の業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	424,467	—	—
セグメント利益	38,735	—	—

## ・営業アウトソーシング事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの事業である営業アウトソーシング事業では、短期・中期的に、顧客企業が必要とする販売スタッフの労働力を、業務請負及び派遣契約により提供しています。

当第2四半期においては、主力の光回線販売において、SOHOマーケットへの注力による売上高の維持を目指しました。以上の結果、営業アウトソーシング事業の業績は次のとおりとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	275,224	—	—
セグメント損失(△)	△7,954	—	—

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (ア) 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、主に「現金及び預金」及び「受取手形及び売掛金」の減少により2,031,222千円(前連結会計年度末比367,543千円減少)となりました。

## (イ) 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「買掛金」の減少により571,280千円(前連結会計年度末比178,026千円減少)となりました。

## (ウ) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の減少により1,459,942千円(前連結会計年度末比189,517千円減少)となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ391,565千円減少し、727,835千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失を計上したことに加え、主に仕入債務の減少により、99,768千円の支出となりました。(前年同四半期は91,814千円の収入)

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形・無形固定資産取得及び投資有価証券取得のための支出により、295,744千円の支出となりました。(前年同四半期は279,504千円の支出)

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金返済により2,164千円の支出となりました。(前年同四半期は30,589千円の支出)

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績が想定を下回ったことを勘案し、平成25年8月14日に公表しております業績予想を修正いたしました。詳細は、平成26年1月28日に公表しております「特別利益の発生、第2四半期累計期間および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便的な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	819,400	727,835
受取手形及び売掛金	516,407	371,630
有価証券	300,000	—
その他	89,857	99,182
貸倒引当金	△1,360	△1,578
流動資産合計	1,724,305	1,197,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,558	71,966
減価償却累計額	△36,456	△40,848
建物及び構築物(純額)	30,102	31,118
工具、器具及び備品	406,387	430,368
減価償却累計額	△321,568	△337,797
工具、器具及び備品(純額)	84,819	92,571
有形固定資産合計	114,921	123,689
無形固定資産		
ソフトウェア	211,051	164,662
ソフトウェア仮勘定	43,176	54,195
のれん	1,318	49,492
その他	14,716	15,426
無形固定資産合計	270,263	283,777
投資その他の資産		
投資有価証券	37,972	134,397
その他	315,065	388,480
貸倒引当金	△63,762	△96,191
投資その他の資産合計	289,275	426,686
固定資産合計	674,460	834,153
資産合計	2,398,765	2,031,222



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,621	80,697
未払金及び未払費用	227,239	225,975
未払法人税等	2,176	6,915
短期借入金	113,610	41,000
1年内返済予定の長期借入金	13,908	20,248
賞与引当金	9,996	5,845
その他	115,058	87,827
流動負債合計	687,610	468,509
固定負債		
長期借入金	13,537	58,108
資産除去債務	32,329	32,407
その他	15,829	12,254
固定負債合計	61,695	102,770
負債合計	749,306	571,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	969,539	970,435
資本剰余金	939,339	940,235
利益剰余金	△261,176	△451,998
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,647,664	1,458,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	45
為替換算調整勘定	△1,762	△28
その他の包括利益累計額合計	△1,757	17
新株予約権	1,531	—
少数株主持分	2,021	1,290
純資産合計	1,649,459	1,459,942
負債純資産合計	2,398,765	2,031,222

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	773,581	1,609,662
売上原価	493,616	1,184,528
売上総利益	279,964	425,133
販売費及び一般管理費	354,983	667,140
営業損失(△)	△75,019	△242,006
営業外収益		
受取利息	573	389
為替差益	4,711	2,237
貸倒引当金戻入額	660	650
雑収入	1,384	7,499
営業外収益合計	7,329	10,776
営業外費用		
支払利息	87	1,277
貸倒引当金繰入額	—	8,400
雑損失	755	902
営業外費用合計	842	10,579
経常損失(△)	△68,531	△241,809
特別利益		
新株予約権戻入益	473	1,302
特別利益合計	473	1,302
特別損失		
固定資産除却損	5,823	888
減損損失	—	12,699
関係会社投資損失	247,362	—
特別損失合計	253,185	13,587
税金等調整前四半期純損失(△)	△321,243	△254,094
法人税、住民税及び事業税	1,297	1,489
法人税等調整額	△15,858	△64,030
法人税等合計	△14,561	△62,541
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△306,682	△191,552
少数株主損失(△)	△1,351	△730
四半期純損失(△)	△305,330	△190,822

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△306,682	△191,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	41
為替換算調整勘定	△3,163	1,733
その他の包括利益合計	△3,126	1,775
四半期包括利益	△309,808	△189,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308,457	△189,046
少数株主に係る四半期包括利益	△1,351	△730

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△321,243	△254,094
減価償却費	130,164	151,050
のれん償却額	1,534	5,550
関係会社投資損失	247,362	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,248	32,647
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△4,151
受取利息及び受取配当金	△573	△389
支払利息	87	1,277
為替差損益(△は益)	△4,711	△4,388
新株予約権戻入益	△473	△1,302
固定資産除却損	5,823	888
減損損失	—	12,699
売上債権の増減額(△は増加)	△3,107	144,777
未収入金の増減額(△は増加)	44,998	1,094
仕入債務の増減額(△は減少)	△735	△124,923
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	16,242	△2,455
その他	△5,905	△75,131
小計	108,211	△116,851
利息及び配当金の受取額	573	389
利息の支払額	△87	△1,205
法人税等の支払額	△16,883	△2,448
法人税等の還付額	—	20,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,814	△99,768
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,600
有形固定資産の取得による支出	△36,564	△42,883
無形固定資産の取得による支出	△220,808	△92,574
投資有価証券の取得による支出	—	△96,360
貸付けによる支出	—	△11,900
貸付金の回収による収入	3,543	7,162
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△17,353	—
事業譲受による支出	△7,700	△53,725
差入保証金の差入による支出	—	△9,658
差入保証金の回収による収入	—	6,910
その他	△621	△1,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,504	△295,744

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△13,965	△112,084
借入れによる収入	—	108,385
株式の発行による収入	4,532	1,563
配当金の支払額	△21,156	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,589	△2,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,547	6,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△216,731	△391,565
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,637	1,119,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,213,906	727,835

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウト ソーシング 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	248,943	504,116	20,520	—	—	773,581	—	773,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	248,943	504,116	20,520	—	—	773,581	—	773,581
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△11,840	208,849	△67,347	—	—	129,661	△204,680	△75,019

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに  
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウト ソーシング 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	323,066	545,288	41,615	424,467	275,224	1,609,662	—	1,609,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	—	1,007	918	3,425	△3,425	—
計	323,066	546,788	41,615	425,475	276,142	1,613,088	△3,425	1,609,662
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△55,604	208,911	△96,372	38,735	△7,954	87,716	△329,722	△242,006

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに  
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更し、従来の「ポータル事業」及び「ソリューション事業」を「ソーシャルメディア事業」、「エンタープライズソリューション事業」及び「ナレッジマーケット事業」に再編しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント情報に基づき作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,500千円であります。

「ナレッジマーケット事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては11,199千円であります。

## (のれんの金額の重要な変動)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、Davia, Inc. よりバースデーカレンダーなどのウェブサイト (Davia.com) 及び有料アプリなどのデジタルグリーティングカード事業を譲り受けております。なお、当該事象によるのれんの増加額は53,725千円であります。

## (重要な後発事象)

## 重要な子会社の株式の売却

当社は、平成26年1月28日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社オーケーライフの株式の一部を株式会社フェイスに譲渡することを決議し、平成26年1月28日付で同社との間で株式譲渡契約を締結いたしました。当該異動に伴い、当社の連結子会社である株式会社オーケーライフ及びその子会社であるOKMusic, Inc. は、当社の連結範囲より除外されることとなります。

## 1. 譲渡の理由

株式会社オーケーライフは、当社グループにおいて、「OKMusic」を運営している連結子会社です。

「OKMusic」は、楽曲配信と楽曲やアーティストへのロコミ投稿、閲覧のほか、音楽ニュースを配信するソーシャルメディアとして利用者の支持を得てまいりました。

この度の株式譲渡におきましては、株式の譲渡先が「OKMusic」に積極的に関与することを前提に、当社にて慎重に検討した結果、株式会社フェイスに資本参加いただくことが、「OKMusic」の今後の発展に寄与すると判断し、当社が保有する株式の一部を譲渡することとしたものであります。

## 2. 売却先の名称

株式会社フェイス

## 3. 売却の時期

平成26年1月28日

## 4. 当該子会社の名称及び事業内容

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 名称   | 株式会社オーケーライフ  |
| (2) 事業内容 | 楽曲配信と楽曲やアーティストへのロコミ投稿、閲覧のほか、音楽ニュースを配信するソーシャルミュージックメディア事業 |

## 5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

- |              |             |
|--------------|-------------|
| (1) 売却株式数    | 25,000株     |
| (2) 売却価額     | 180百万円      |
| (3) 売却損益     | 約222百万円の売却益 |
| (4) 売却後の持分比率 | 15.9%       |